



## ガバメントクラウドファンディング型 志縁型団体協働のまちづくり事業補助金について

市と協働して公益性のある市民活動を行っている志縁型団体に対し、ガバメントクラウドファンディング（GCF）で寄附を募るため、応募した団体の審査において市が目指す姿を明確に示していただきたい。

また、GCFにはシティプロモーションとしての意味もあり、定住促進PR事業にも繋がるものであるので、その他のプロモーション事業との広報の整合性を図り、志縁型団体への寄附を呼びかけていただきたい。



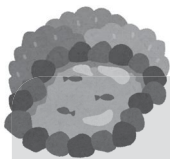
## 特別支援学級における児童生徒用 タブレット型コンピュータ整備事業について

市内の通常学級の小中学校の児童生徒においても、GIGAスクール構想の中で1人1台端末の積極的利活用を図られていることから、学校において、個に応じた学習ができるように支援の指導をしていただき、教育委員会において、学校差のある教育現場を調整し、タブレットの運用、利活用の状況を目標値を持って進めるように努めていただきたい。



## ふるさと納税推進事業について

国の見直しがありうる制度であり、制度自体も納税額も安定せず、見通しが立てにくい。ふるさと納税制度に過度に頼らず、ふるさと基金は経常的事業にはできるだけ使わないようにし、市税等の安定的財源を増やす努力をすること。毎年実施する市民への影響力が大きい経常的な事業は、安定性の高い財源をもとに今後とも行っていただきたい。



## 防災重点ため池ハザードマップ作成事業について

ため池の数が多い笠岡市では、大雨・洪水災害や土砂災害、地震・津波災害とともに、ため池の堤体の決壊等があれば、住民生活や民家等に対して大きな被害が発生することになる。危険な防災重点ため池の場所や危険性等を表示したハザードマップの整備を進めるに当たり、現行のハザードマップと連結させ、地域住民の防災意識の向上を図り市民の安全を守っていただきたい。



## 有害鳥獣被害対策事業について

猟友会等の団体との話し合いや調整を早期に解決すること。

今後このような形での事業予算の計上が行われないようにしていただきたい。